

「もの作り」収益改善セミナー

生産管理 “強化塾” 第3回

3ヶ月集中講座

—— 生産管理のプロが清流生産を伝授します。 ——

対象者

職種／製造、生産管理、資材購買、外注管理、在庫管理部門で働いている人
役職／係長、課長、部長、工場長、経営者

【講師】収益改善コンサルタント：西田順生(にしだ じゅんせい)

1977年神奈川大学工学部工業経営学科へ入学し、生産管理に魅了される。1981年同学科卒業。(株)村田製作所グループ及び(株)EIZOにて生産管理・外注管理・購買の実務を経験。多くの納期・品質・原価の改善実績を持つ。若干36歳で国家資格技術士(経営工学部門)に合格。1996年コンサルタントとして独立。現在、“製造業のための”収益改善コンサルティング会社：株式会社西田経営技術士事務所 代表取締役を務める。

2006年「収益改善プログラム(IPP)」を開発。多くの会社を導入され、利益アップに貢献している。

豊富な経験に裏打ちされた平易な説明には高い評価があり、主に首都圏、東海、北陸、近畿、九州地区の製造業に対して、経営指導を精力的に行っている。

〈講師実績〉

日本経営合理化協会……………19回
みずほ総合研究所(株)……………14回
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)……28回
その他大手、官公庁……………20回
自社主催……………42回

〈主著〉

『値決め経営』日本経営合理化協会より『儲けの9割は「値決め」で決まる!』『5人分の仕事を3人で回す「ムダ時間」削減術』『買い叩かれない会社の3つの戦略』『緊急!収益改善会議』以上中経出版より、『作る前にコストダウンする技術』、『粗利を2倍にする価格決定論』以上PHP研究所より、その他多数あり。

——生産管理と出会って39年——
株式会社 西田経営技術士事務所
代表取締役・技術士

西田 順生



“製造業のための”収益改善コンサルティング会社
株式会社 西田経営技術士事務所

生産管理は、“技術”です。

しかしながら、多くの工場ではこのことを軽視し、長年の“勘と経験と度胸”で、もの作りをしています。

これでは、景気回復でせっかく仕事が増えても、“すんなり”と作れず、儲からない状態へ陥ります。

生産管理能力が弱いと、材料が間に合わないとか前工程から半製品が届かなかったりすることによって、納期トラブルが頻発するようになります。また現場や倉庫が在庫であふれかえり、もの探しなど本来一銭にもならないムダな作業が増加し、原価の上昇へ発展していきます。

「生産管理能力が弱い」—その最大原因は、正しい生産管理技術を勉強せずに、従来の“勘と経験と度胸”に頼ったやり方を踏襲しているからにほかなりません。

本来使ってはいけない「カンバン方式」や「発注点方式」を採用して現場を混乱させている会社、導入した“使えない生産管理システム”で現場をバタバタにしている会社、間接人員がやたらと多い会社、手配の仕方がまずく死蔵在庫・滞留在庫を多量に抱えている会社を、私はたくさん診て指導をしてきました。

このセミナーは、私の19年間の指導経験や事例をふんだんに取り入れ、さらには実習を交えながら「正しい生産管理技術」が習得できるように工夫してあります。

もの作り企業にピッタリマッチしたセミナーです。

このチャンスをお見逃しなく、今すぐFAXを!



セミナーカリキュラム

プログラム 【第1日目】 すんなり製造! 正しい生産計画の立て方・守り方

■セクション1 すんなりと作る、生産管理の基礎技術

- 課題1. そもそも生産管理業務とは、どのような仕事か
- 課題2. モノ作りは“生産形態”で決まる!!
- 課題3. 工程管理の二大機能を知る

■セクション2 儲けを左右する生産計画の正しい立て方

- 課題4. 生産計画の種類を知る
- 課題5. それぞれの役割を腹に落とす
- 課題6. 需要予測、受注予測が生死を決める
- 課題7. 柔軟な生産計画を立てる方法
【実習】

■セクション3 遅れ、進みがピンッと分かる進捗管理のやり方

- 課題8. 生産統制で手を抜くな!
- 課題9. 「現品管理」を侮るな!
- 課題10. 簡単に進捗状況が見える化する手法
- 課題11. 予期せぬ残業・休出をなくす方法

プログラム 【第2日目】 現場をスッキリ動かす! 在庫管理の正しいやり方

■セクション1 在庫管理の基礎技術

- 課題1. まずは、在庫の種類を正しく知る
【実習】
- 課題2. 在庫差異を減らせばバタバタは止まる!—その方法
【実習】
- 課題3. 在庫の境界線を作ることが大切
【実習】

■セクション2 欠品をなくす技術

- 課題4. 二大発注方式+1を知る
【実習】

■セクション3 今の在庫をスッキリさせる方法

- 課題5. 1S、2Sは、準備で決まる
- 課題6. 意外と難しい1S—その効果的な進め方
- 課題7. 上手に2Sするコツ

■セクション4 半年後の在庫をスッキリさせる方法

- 課題8. 先生産と見込み生産の違いを知る
- 課題9. 需要予測、受注予測の精度を上げる
- 課題10. 見込み手配、見込み生産のルールを作る
- 課題11. 小ロット生産(購入)をサクッと進める
【実習】

■セクション5 パソコンで作る半自動発注システム

- 【実習】

塾から学べる事

★1日目

1. すんなり生産するための、正しい生産計画の立て方・進捗管理の方法
2. 前工程からの遅れを止める方法
3. 適正人員、適正シフトですんなり生産する工程管理のやり方
4. 納期トラブルを極限まで減らす生産管理技術

★2日目

1. 材料の緊急手配や入手遅れを減らす発注システム
2. 現場をバタつかせない在庫管理の正しいやり方
3. 死蔵在庫・滞留在庫をグッと減らす方法

★3日目

1. 失敗しない生産管理システムを導入するコツ
2. 現在の生産管理システムを上手に見直すコツ
3. 間違いだらけの生産管理システムを見ぬく方法

本校の特徴

1. 毎月1回×3ヵ月間開催
2. 実習を通して、頭と体で学べる双方向の研修
3. 生産管理の基本から、生産管理システム構築のコツまで指導
4. 全国から集まってくる同じ悩みを持つ方々との交流

このような企業様へ

1. 暇な時も忙しい時も、いつも納期トラブルに見舞われている企業様。
2. 急な生産指示や材料手配で、いつもバタバタしている企業様。
3. 間接工数をたくさん投入しているにもかかわらず、材料や外製品の納期遅れが現場を混乱させている企業様。
4. 何が、何個、どこに仕掛っているのか、一々現場を見に行かないと分らない企業様。
5. 在庫が多く、進捗状況が把握しづらい企業様。
6. 在庫差異（理論在庫と現物在庫との差異）が多く、現場を混乱させている企業様。
7. 生産管理システムを新たに導入したいが、失敗しないようにしたい企業様。
8. 自社の生産管理システム・生産方式に間違いがないか、今一度確認をしたい企業様。



プログラム 【第3日目】

儲からない原因は、生産管理システムにあり!

■セクション1 貴社にピッタリの実産管理システムはこれだ!

課題1. 4つの生産管理方式より、選ぶ

■セクション2 知っておいて損はない、流動管理方式

■セクション3 製番管理方式が、しっくりくる工場

課題2. 製番管理方式とは?—その概要

課題3. 適用しやすい生産形態

課題4. 適用しやすい生産方式

課題5. 特徴

課題6. メリット

課題7. デメリット

課題8. 在庫削減効果をもたらす基本理論

課題9. 成功のポイント

【実習】

■セクション4 MRP方式が、しっくりくる工場

課題10. MRP方式とは?—その概要

課題11. 適用しやすい生産形態

課題12. 適応しやすい生産方式

課題13. 特徴

課題14. メリット

課題15. デメリット

課題16. 在庫削減をもたらす基本理論

課題17. 成功のポイント

【実習】

■セクション5 超優良企業しか向かないカンバン方式

課題18. カンバン方式とは?—その概要

課題19. 適用しやすい生産形態

課題20. 適用しやすい生産方式

課題21. 特徴

課題22. メリット

課題23. デメリット

課題24. 在庫削減をもたらす基本理論

課題25. 成功のポイント

【実習】

■セクション6 失敗しない生産管理システム構築、導入のコツ

課題26. 失敗しない、その導入手順

課題27. 失敗しない、事前の検討技術

理解を深めて頂くための“3つの仕掛け”

1. 一方通行にならないよう設問形式を多用し、受講者の皆さんに考えて書いて頂く時間を設けてあります。
2. 会社へ帰って、すぐに実践できるように、3日間で10個の演習を取り入れてあります。



個別企業様への訪問研修は、過去19年で9回実施しております。



受講者の声

- 日々生産管理業務を行っている中で、材料欠品やお客様からの納期督促が怖いのために、たくさん在庫を抱えていました。今回学んだ手法を実践していけば、在庫を減らせる自信がついてきました。
(神奈川県 生産管理係長 西村俊之)
- セミナーに実習が組み込まれていたため、非常に分かり易い内容で満足しています。
(栃木県 製造課長 山田康高)
- 過去、部下に対して指示していたことが、間違っていたことに大きなショックを受けました。生産管理技術というものが存在することを知り大変有意義でした。
(茨城県 生産管理課長 沢村 隆)

◆実施日時

- 第1回：2015年 9月10日(木) 10:00～16:30
 第2回：2015年10月 6日(火) 10:00～16:30
 第3回：2015年11月10日(火) 10:00～16:30

◆場所

機械振興会館
 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 (東京タワー前)

◆参加費用

全3回の総合計：74,400円／1人(税込み価格)
 3回コースを分割して受講することはできません。
 また途中欠席されても返金はできませんので、ご了承ください。
 ただし、参加者の途中変更は可能です。

◆セミナーのお申し込み方法

下記用紙にて、今すぐFAXして下さい。

◆代金のお支払い方法

FAX受領後日、受講票及び請求書を郵送させていただきますので参加料金を指定口座にお振込み下さい。

◆主催・お問い合わせ先

株式会社 西田経営技術士事務所
 〒100-6208 東京都千代田区丸の内1-11-1
 パシフィックセンチュリープレイス8F
 TEL 03-6411-1264
 FAX 03-6411-1265
 http://www.ni-g-j.co.jp
 e-mail:daihyou@ni-g-j.co.jp
 お問い合わせ担当者 総務：西田美智代

セミナーNo.150910「生産管理“強化塾”」セミナー申込書

FAX 03-6411-1265 (24時間受付中!)

ふりがな					
会社名					
所在地	□□□□□□□□				
TEL番号			FAX番号		
連絡担当者	部署		氏名(ふりがな)		
参加者	役職名	ふりがな	役職名	ふりがな	
		氏名		氏名	
参加者	役職名	ふりがな	役職名	ふりがな	
		氏名		氏名	

*入手した個人情報につきましては、本セミナーの連絡および弊社活動のご案内のみに使用させていただきます。

*当社代表取締役 西田順生は、わが国の「技術士法」によって、“守秘義務”“信用失墜行為の禁止”が課せられていますので、ご安心ください。